

ねらい

異なった協議方法を活用し、多様な意見やアイデアを出し合うことができる。
 次回の研究会までの取組内容を話し合い、全員が共通理解することができる。

具体的なすすめかた

(1) 研究会についての説明 (5分)

研修のねらい、本時の研究の視点、グループ協議の方法について説明する。



(2) 自評 (5分)

研究の視点に沿って、本時の学習について話をする。

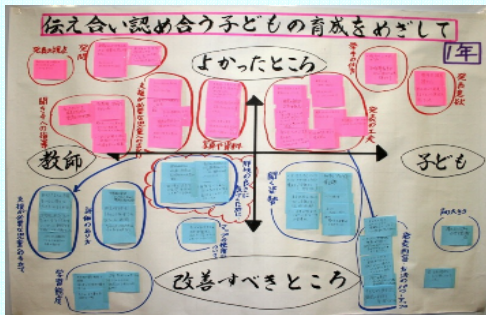


(3) 研究授業についてのグループ協議 (40分)

グループで種類の違うシートを活用し、研究の視点に沿って、本時の学習について協議する。

Aグループ ~概念化シート活用~

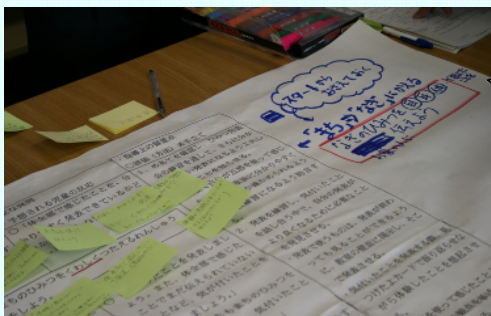
- ・付箋紙に書き込んだ気付きや考えを4象限上で整理し、見出しをつける。
 縦軸 よかったところ、改善すべきところ
 横軸 教師、子ども



課題や成果が明確になってきたところで、次回までにどのようなことを具体的に取組んでいくのか、優先順位を決めて話し合ってみましょう。

Bグループ ~指導案活用~

- ・付箋紙に書き込んだ気付きや考えを指導案上で整理し、ねらいにせまるための教材の準備、発問、評価等、指導・支援の在り方を協議する。



導入・展開・まとめの指導過程に沿って振り返ることで、児童生徒の意識の流れや変容等について協議でき、個々の指導に生かすことができます。次回の指導案の書き方も協議するとよいでしょう。

(4) グループ発表 (10分)

各グループの代表者が、研究の視点に沿って、児童生徒の実態、教師の指導・支援について発表する。

グループごとに活用するシートが違うので、活用したシートの特徴や良さ等の紹介も含めて発表すると、次回の研究会への意欲につながります。



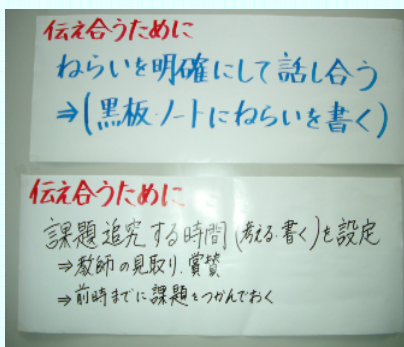
(5) 次回までの取組内容についての協議 (30分)

2グループから出た意見をもとに、全員が次回までに取り組む具体的な内容について協議する。

パターン1

グループで協議

Aグループ
Bグループ



次回までの取組内容

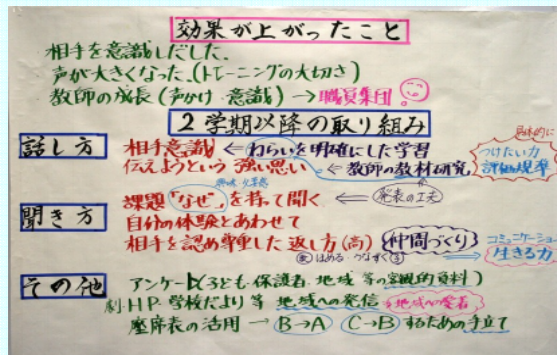
研究授業だけでなく、個々の実践について情報交換したり、翌日から取り組むことを、**全員参画**によって考えることが大切です。

1つに絞りきれないときは、共通理解のもとで、優先順位を決めて取り組むことも考えられます。

パターン2

全体で協議

1学期の取組の成果を大事にして、2学期の取組を協議する。



学校教育目標や研究テーマに沿って、児童生徒のめざす姿に近づくような具体的な取組を考えましょう。

(6) まとめ・振り返りシート (10分)

次回までに取り組む内容を全員で確認し合う。
アンケート(振り返り)

研修でまとめたシートを職員室等に掲示しておく、共通理解した内容を日々振り返ることができます。